大阪狭山市のマスコット

さやりん

市民のみなさんから寄せられた活動を中心に紹介しています。

大阪狭山市市民活動支援センター情報誌

News Letter Express

VOL.73　2023年12月

Dec. 2023 News Release From Osakasayama

目　次

目　次	P
第２回　わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル	1
しみんのちから登録団体紹介	1
団体立ち上げを考える仲間たちの交流会他	2
第１３回さやりんピック開催他	3
情報ステーション	4

第２回　わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル

わくわく市民活動・ボランティアフェスティバル（通称：わくフェス）は、市民活動やボランティア活動を多くの人に知ってもらうきっかけをつくり、活動の輪がつながり、広がることを目的として開催するイベントです。令和５年２月に開催した第１回わくフェスは、参加者が約1500人となり、大盛況で終了しました。

今回からは、わくフェスに参加する市民活動団体や個人がよりつながるように、実行委員会形式でのイベント実施にチャレンジしています。様々な分野で活動する人が準備段階から、わくフェスの企画・運営に携わり、会議を重ね、アイデアを出し合いながら、多くの人に楽しんでもらえる仕掛けを考えています。ぜひお越しください！

日　時：令和6年2月11日㈰ 10:00～15:00
場　所：市立公民館
内　容：市民活動団体によるステージ、活動内容の展示やワークショップ、模擬店　など
問合せ：わくフェス実行委員会事務局
・市民活動支援センター　TEL:366-4664
・社会福祉協議会　TEL:367-1761

（第１回わくフェスの様子）

「しみんのちから」登録団体NO.186 若もの自立支援センター のびのび

まさかうちの子が！？と、子育ての問題はある日突然ふりかかります。そうすると、子どもとの付き合い方、学校との付き合い方、勉強・進学・将来…未来への不安が一気に押し寄せ、どうしていいかわからなくなり、ご自分を責めてしまう事も少なくないでしょう。そうした方に「でも大丈夫。私たちと一緒に考えませんか？」というメッセージを送っているのが、のびのびの活動です。のびのびでは、子育てで抱える悩みを不幸な出来事や問題として捉えるのではなく、親も子も自分の人生をもう一度見直し、自分として生き始めるための気づきのチャンスだと考えています。もちろん、困り事や苦しい気持ちは簡単に拭い去れるものではありません。けれど、見方を変えれば子どもの精一杯の自己表現に『気づかせてくれて、ありがとう』と言える日が必ず訪れます。一人で抱え込まなくて大丈夫。一緒に語り合い、一緒に分かち合い、そして一緒に考えましょう。話すことで自然と頭の中が整理されます。聞くことで新しい気づきにつながります。お話会を月1回、第三日曜日の午後1時30分からコミュニティセンターで行っております。まずはのびのび公式LINEを登録して頂ければ幸いです。

陶器山の自然

カワセミ

情報提供
あまの街道と
陶器山の自然を守る会

団体立ち上げを考える仲間たちの交流会

昨年度に「大阪狭山市市民公益活動促進補助金制度」の中で、団体立ち上げのために補助金（スタートアップ支援補助金）が市民活動支援センターに移管され、年間を通じて申請でき、２日間のセミナー等を開催しながら、サポートできる体制になりました。
今回、令和４年度・令和５年度のセミナーを受講した仲間たちが集合し、交流会を開催することができました。２年間の講師をしていただいた「認定NPO法人　ワークレッシュ」代表の和久さんとともに仲間がひとつになった交流会でありました。
交流会では、既に団体を立ち上げた受講生や今年度に団体立ち上げの申請を済ませた方達が参加し、みんなで情報交換（LINEで情報交換）しながら団体立ち上げを行う意見交換等を行いました。
仲間で団体を立ち上げた「ふれあいBOX」のマジックショーをみながら、交流会がワイワイと盛会のうちに終了しました。
終了後も「お互い支え合っていこうね！」と声を掛け合う場面が多くあり、つよーい仲間が続くものと確信しました。

狭山ニュータウン　謎解きウォーキング＆さやマルシェ

10月28日㈯ 絶好の秋晴れの下、東大池公園をメイン会場として大野台地区にて「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト」が、「第3回狭山ニュータウン謎解きウォーキング＆さやマルシェ」を開催しました。これは公園をもっと知り、地域の居場所として活用することで、多世代が参画する地域コミュニティづくりにつなげることを目的としたものです。謎解きウォーキングでは、事前に申し込みのあった親子連れを中心とした140名の参加者が、ハロウィーンの仮装等で東大池公園をスタートし、狭山ニュータウン地区に関係のある問題を解きながら大野台の各公園を約1時間余り楽しく巡り、東大池公園に無事にゴールしました。ゴール後は同時開催の「さやマルシェ」にて、キッチンカー等で飲食し、竹馬・紙ヒコーキ・じゃんけん大会等で大いに楽しんでいました。今回のイベントは、前回と同じく、狭山ニュータウン地区の自治会（地区会）の皆様方のご協力により、ウォーキングの各ポイントにて参加者の安全のため、誘導と見守りを行っていただきました。

大阪大谷大学地域連携学習プログラム

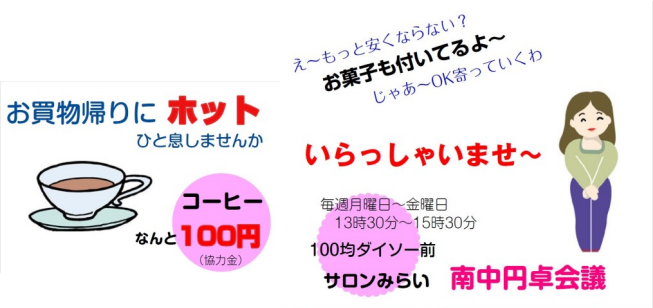
当市民活動支援センターと大阪大谷大学との連携事業として、毎年1回生の学生が「地域社会体験学習」を行うために当支援センターが受け入れを行っている事業です。目的は、この体験学習を通じて、地域社会における様々な課題について、関心・共感を持って課題の背景や原因等これから取り組みを行う基礎的なものを習得するためです。8月19日～9月14日の期間中、協力団体の支援を得て、必須時間40時間体験を行ってきました。体験内容の中心となったのは、「南第一小学校でのコミュニティスクール」体験です。1年生から6年生まで全学年で担任先生のサポート役として活動、子どもたちと楽しい時間を持つことができました。
市民ふれあいの里で行われた「子どもと保護者対象の人づくり」や大阪狭山防災レンジャーの防災の研修、プルトップ体験などの体験を通じて、新しい発見や気づきのある有意義な学習になったと報告してくれました。ご協力いただいた団体のみなさんありがとうございました。
【協力団体】
・南第一小学校・公民館・社会教育G
・大阪狭山防災レンジャー・プルトップ部会

第13回さやりんピック開催

秋晴れのなか10月29日㈰　さやか公園にて開催されました。写真は開会式の選手宣誓の一コマです。メイン会場では準備体操を全員でし、水バケツリレーゲームで防災訓練をしました。その後小学生以下対象のアメすくい競争では沢山の子どもたちが参加していました。また、特命大使の西浦秀樹さんのミニライブなどがあり、昼休憩をはさんで午後はさやま音頭保存会のみなさんの指導でさやま音頭をおどりました。その後はパンつかみ競争の個人戦と団体対抗の玉入れ競争などがおこなわれました。ふれあい広場は狭山中学校区地域協議会がストラックアウト・サッカーナイン・輪投げ・ボッチャの競技を担当、模擬店コーナーもカレー・焼きそば・クレープ・弁当・フライドピザ・フランクフルト・おにぎり・パンや飲み物などを求めて行列ができていました。子どもづれの若い人達などがたくさん行事に参加されているのが印象的でした。

南中円卓会議「円卓カフェ」の再開

NPO法人南中円卓会議では、3年余りコロナ禍の関係でお休みしていた「円卓カフェ」を再開することになりました。このカフェは、地域のみなさんが気軽に集まり、語らいや世間話をする場として、ニュータウン内の自治会のみなさま方と共にボランティアとして運営しています。コーヒーとお菓子付きで協力金として100円で提供しております。
人と人とのつながりは生活の質を大きく向上させ、地域の人との交流の機会があれば、困りごとを相談したり助け合ったりでき、日々の負担が和らぎやすくなります。各地のコミュニティカフェに関する調査によりますと、「ゆっくりリラックスできる」が約4割で、次いで「コーヒーを楽しむ」が約3割となっています。お買い物帰りにお気軽に立ち寄ってみて、コーヒーを飲んでおしゃべりしてほっと一息しませんか。お待ちしております。
日　時：月曜日～金曜日　13：30～15：30
場　所：サロンみらい（大野台ハーティ地下）



私たちの市民活動発表会＆交流会

「しみんのちから」に登録している団体のみなさんに日頃の取り組み状況や活動に対する想いを語っていただきます。
今回の発表団体は以下の2団体の予定です。
〇若もの自立支援センター のびのび
〇大阪狭山防災レンジャー
新しく立ち上がった団体や、代表者が代わった団体のみなさんが、もっと活動をＰＲしていきたいと積極的に手を挙げてくださいました。それぞれの団体の活動を多くのみなさんに知っていただいて、仲間づくりのための交流会を行います。

日　時：令和6年3月9日㈯　14：00～16：00
場　所：市役所南館　２階　講堂
定　員：30名（要申込）
参加費：無料
申　込・問合せ：市民活動支援センター
TEL・FAX：366-4664

（前回の様子）

情報ステーション

来年のカレンダーを作ろう

テンプレートを使って来年のカレンダーを簡単に作ってみませんか？

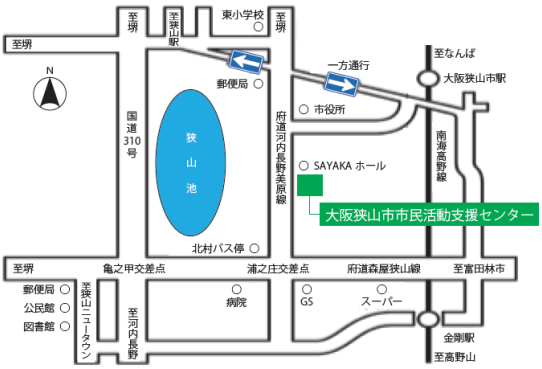
日　時：12月9日㈯　14:00～16:00
場　所：市役所南館　2階　講堂
対　象：大阪狭山市内に居住・勤務している人
内　容：おおきなポスターの作り方
参加費：無料（材料費は実費）
定　員：10人（先着順）見学だけも可
持ち物：ノートパソコン（M/S Office 必須）
申　込：12月8日㈮　電話番号・メールアドレスを明記の上、当支援センター　FAX:366-4664　へ
電子メールの場合は
soumu@osakasayamasc.onmicrosoft.com
支援センターホームページからも申込できます。
http://osakasayama-sc.jp
問合せ：市民活動支援センター
TEL：366-4664

スマートフォン

マッチング活動

当市民活動支援センターでは、ボランティア活動の希望者に対してメンバーを募集している団体を紹介するマッチングだけではなく、余っているもしくは使用していない品物を必要とする団体に有効活用して貰うというマッチング活動にも取り組んでいます。現在「物」のマッチングとして、未使用の将棋盤の提供があり、必要とする市民活動を行っている団体や自治会などを対象にお譲りします。将棋盤のみで駒はなく、申込団体が多数の場合は抽選となります。過去には珍しい物として、Gパンの生地が大量に余ったための生地の提供や紙芝居の舞台の提供がありましたが、どちらもすぐに団体から申し出があり活用して貰っています。「人」のマッチングとしては、昨年度は40件の実績があり、主に夏場の小学校のプールの見守り活動の紹介をしました。
支援センターのマッチング活動にご協力ください。
将棋盤の申込期日：12月15日㈮
申込場所：市民活動支援センター TEL：366-4664

大阪狭山市市民活動支援センター
News Letter Express
発行責任者：橋本　巌
編集責任者：早野　秀夫
〒589-0005 大阪狭山市狭山1-862-5
TEL・FAX：072-366-4664
E-mail:simin025@yacht.ocn.ne.jp
http://osakasayama-sc.jp



編集後記

健康寿命を過ぎ持病はあるものの、今のところ元気で自立した生活を送れているが、平均寿命が近づいているため少々焦る気持ちだ。
あるデータによると、適度な運動をすることによりがんの予防に繋がり、長時間座っているとがんのリスクが高まるという。がんの予防だけではなくフレイルに陥らないためにも、定期的な運動が必須なので継続しなければ。そしていつかはピンピンコロリであっさりあの世に行きたいと願っているが、そううまくいけばいいのだが。
人間には誰しも自分で決めない限り寿命というものがある。人生について「九十歳でお迎えが来た時はそう急がずともよいと言え、百歳でお迎えが来た時は頃を見てこちらからボツボツ行くと言え」と言っている人がいた。
こういう心境で自分にお迎えが来る時までは、残された余生を楽しみながら送ろうと思う。或いはひょっとしたら奈良にあるぽっくり寺に願掛けに行っているかも。（M）